

天ヶ瀬ダム下流宇治川右岸の河岸洗堀等について

天ヶ瀬ダム下流宇治川右岸において、5月7日の大雨に伴う5月8日からの天ヶ瀬ダムの放流操作中に関西電力敷地内の道路法面の崩落及び放流操作終了後に白虹橋付近の河岸で一部洗堀が確認されました。

このため、国土交通省近畿地方整備局（以下、整備局）に、早急な応急復旧及び被災の原因究明並びに安全確保のために必要な対策について要請しました。

また併せて、5月25日からの整備局による応急復旧について報告します。

1. 経過

- 5月8日（月）淀川ダム統合管理事務所（以下、ダム事務所）が16時ごろから天ヶ瀬ダムの放流量を約800 m³/sに増やすと通知。
- 5月9日（火）8時40分ごろ天ヶ瀬ダム下流宇治川右岸の関西電力敷地内の道路の崩落をダム事務所が確認。
- 5月11日（木）ダム事務所長が来庁し、崩落状況の説明を受けた。
- 5月12日（金）ダム事務所が13時30分から天ヶ瀬ダムからの放流量を約130 m³/sに減らすとの通知。
- 5月13日（土）8時30分ごろダム事務所が、白虹橋右岸付近の河岸が一部洗堀していること等を確認。
- 5月16日（火）ダム事務所が本件を報道発表。同日、整備局職員が来庁し、崩落及び洗堀の説明を受けた。
- 5月24日（水）ダム事務所が応急復旧工事について報道発表。

2. 国への要請事項

本件について、宇治市は整備局に以下の要請を行った。

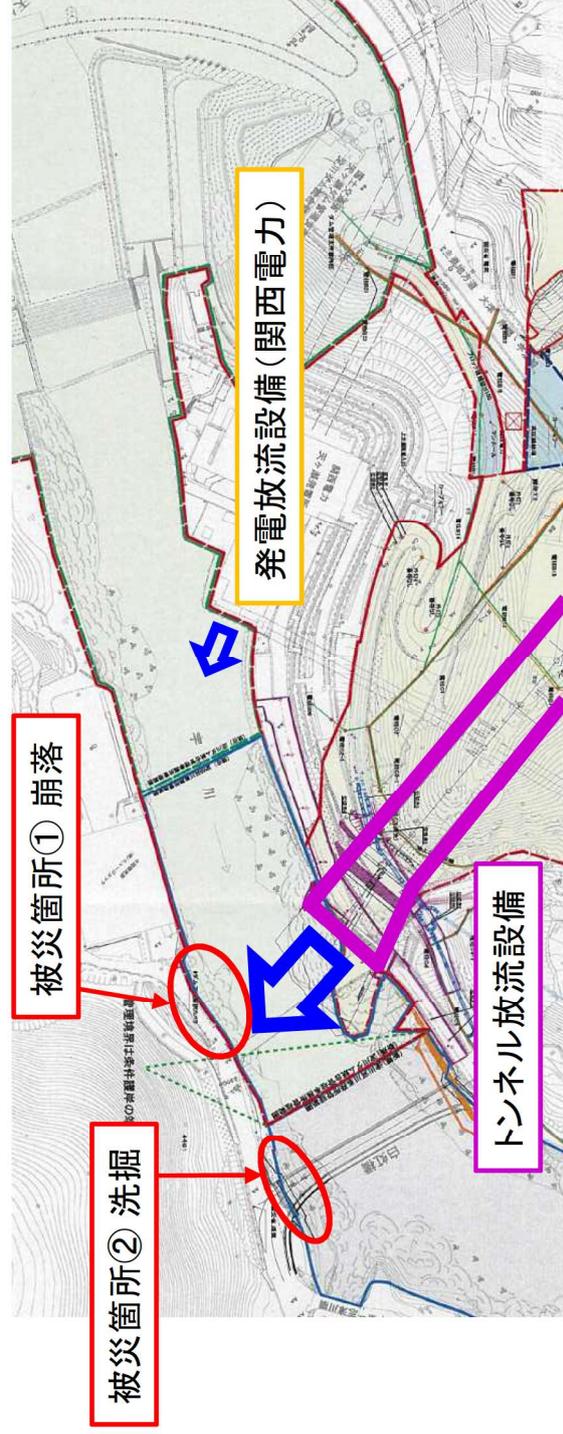
- 早急に応急復旧を行うこと。
- 今回のダムの放流操作を踏まえた被災の原因究明を行うこと。
- 被災の原因を踏まえ、可及的速やかに安全確保のために必要な対策を講じること。
- 宇治市並びに地元住民に今回の事案に関する説明を適切に行うとともに、今後とも情報提供に努めること。

3. 国の対応状況

- 今回の事案におけるダムの操作及びその影響等の整理を行い、専門家を交え、被災の原因等を究明中。
- 白虹橋の洗堀箇所の拡大を防ぐための応急復旧工事を実施。
作業日：5月25日（木）に着手、概ね1週間程度で完了見込み
※1 白虹橋の通行規制はありません。
※2 関西電力敷地の崩落箇所は応急復旧方法を検討中。

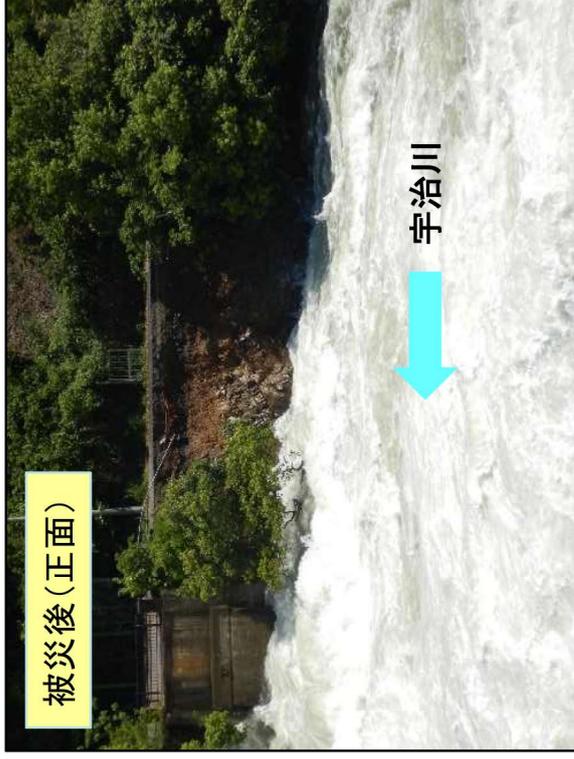
京都府宇治市志津川仙郷谷地先

被災箇所① 関西電力敷地内の道路崩落(私有地)
被災箇所② 白虹橋(右岸側)付近の河岸の洗掘



京都府宇治市志津川仙郷谷地先

被災箇所① 関西電力敷地内の道路崩落(私有地)



被災箇所② 白虹橋(右岸側)付近の河岸の洗掘

